

教育委員会は子ども

第1回定例会の一般質問は、3月6日、11日の4日間に行われ、21名の議員が当面する市政の運営について市長の姿勢や考え方をたずねた。主な質問・答弁は次の通りです。

教育委員会は子どもの人権の尊重を

問宮 議員

公設民営化が示された上の原保育園に併設予定の子ども家庭支援センター機能を持った施設とは、子ども家庭部長、地域子育て支援センターに児童虐待防止のための要支援家庭サポート事業を付加して整備していききたい。

市民不在の大型商業開発は再考せよ！

馬場 議員

子育て支援に関し、家庭福祉員の拡充、認可無認可保育所の格差差正について見解は、子ども家庭部長、人材の確保と安定した運営への体制の改善が課題と認識している。

一般質問 聞きたい

市政のここが

公民党

妊婦健診公費5回！

妊婦健診が都内でしか使えない、立替・償還払いなどで、都外での里帰り健診にも使用可能にすべき。

阿部 議員

健康福祉部長 里帰りされるまでに都内共通の受診票での5回利用が望ましい。



みんな何を願っているのかな？(ジュニアリーダーズ学校のグループ活動から)

発達障がい児者の相談窓口は

桜木 議員

20年度の組織改正に伴う発達障がい児者の相談窓口は、健康福祉部参事 障害福祉課の窓口および健康課の1歳半・3歳児健診後のわかさ学園発達相談室での相談対応は、現行の通り。

新たな財源で市民福祉の向上を！

篠宮 議員

行政改革プランの進捗状況を伺う。企画経営室長 市政の担うべき役割の重点化をはじめとする3つの基本目標を着実に実行してきている。

並木 議員

元氣なまちをつくるという将来ビジョンを明示し、市民と共有すべき。市長、難しい課題だが、「選ばれ続けるまちづくり」を施策の大きな柱として努力したい。

総力上げ

夢を抱けるまちづくり

今後、演奏の際に撮影し記録の保全に努めたい。東部地域のまちづくりは、横断的な組織運営で取り組むべきと懸念が、副市長 東久留米団地の建て替えをはじめ、都市計画道路の整備、学校規模適正化、保育園の民間委託計画等、本市が目指す自立都市実現のための諸課題が多岐ある、各所管が情報を共有して取り組んでいく。

消防委託と下水道の未接続問題

梶井 議員

大規模災害への対策等もあり、早期の消防事務委託が望まれる。今後委託スケジュールと、現時点における課題について伺う。

安全・安心のまちづくりを！

津田 議員

独居高齢者の安否確認 みまもりネットワーク構築の取り組みについて、健康福祉部長、ひとり暮らし高齢者乳酸飲料事業と緊急通報システム事業を、在宅介護支援センター、民生委員、地域の活動団体等と連携し、実態把握等に取り組んでいる。

魅力ある自立都市をめざして！

甲斐 議員

「自立都市東久留米」を指した、新たな産業の誘導について、今後の取り組みを伺う。防犯、防災情報メールについて、現状は総務部長 田無警察署から登録者に配信し、市のホームページにも掲載。ホームページにも掲載。消防長 市内在住の視覚障害者手帳を所持する登録者に災害・気象・地震情報等を配信、登録発信数に限りがあり、現在、発信先の拡大は考えていない。

豊田市長表彰

矢祭町・報酬審議会なる隠れ裏

池田 議員

アスパストから環境を守る方策と市民の安全・安心まちづくりの基本は、環境部長 現状は、現行の法律に基づく判断で対応しているが、関連する条例の設置はない、市としても慎重に研究すべきと考える。

施設の維持管理に疑問あり

富田 議員

公共施設の維持管理について、良好かつ効率的に維持するためにも、長期保全計画書の策定が必要と考えるが、策定が望まれないが、予算措置が厳しい。対症療法的な改修で配慮している。

市民の暮らしを守るまちづくりを！

島崎 議員

消防事務委託に関し、移管開始時期の考えは、前沢出張所の廃止は決定しているが、今後、各学校との連携を図っていききたい。

改革実行の1年とするために

宮川 議員

教育センター賃借料について、年間約3千万円・20年契約の家賃は高すぎる。改善すべき。18年度5階の利用状況は、研修室1が93回、研修室2が52回、研修室3が67回、聴覚室が4回、少なすぎる。研修は学校を利用して、5階は契約解除を解除が厳しいが、無償で取得し、市長部局が管理してはどうか。協議の場を持つ努力をする。一部でまと約の解除をすれば、進んでいる。現在、都から課題提示のあった組織体制や人員配置、庁舎整備等について協議中である。

市民の暮らしを守るまちづくりを！

市民の暮らしを守るまちづくりを！

市民の暮らしを守るまちづくりを！

約発生者のリスクがある。市長 一つの考え方ではあるが、法的な課題もある。原契約を基本に協議している。ご理解を。

市民の暮らしを守るまちづくりを！

市民の暮らしを守るまちづくりを！

富士見テラスからの眺望は、副市長 富士山がビル群の中にいる。副市長 21年度から22年度に東京都が小井井街道に架かる弁天橋の架け替えとその上下流域140mの整備を予定。源流の湧水復活については、今後も研究していききたい。

市民の暮らしを守るまちづくりを！

市民の暮らしを守るまちづくりを！

「自立都市東久留米」を指した、新たな産業の誘導について、今後の取り組みを伺う。防犯、防災情報メールについて、現状は総務部長 田無警察署から登録者に配信し、市のホームページにも掲載。ホームページにも掲載。消防長 市内在住の視覚障害者手帳を所持する登録者に災害・気象・地震情報等を配信、登録発信数に限りがあり、現在、発信先の拡大は考えていない。

市民の暮らしを守るまちづくりを！

市民の暮らしを守るまちづくりを！

約発生者のリスクがある。市長 一つの考え方ではあるが、法的な課題もある。原契約を基本に協議している。ご理解を。副市長 富士山がビル群の中にいる。副市長 21年度から22年度に東京都が小井井街道に架かる弁天橋の架け替えとその上下流域140mの整備を予定。源流の湧水復活については、今後も研究していききたい。富士見テラスからの眺望は、副市長 富士山がビル群の中にいる。副市長 21年度から22年度に東京都が小井井街道に架かる弁天橋の架け替えとその上下流域140mの整備を予定。源流の湧水復活については、今後も研究していききたい。

子どもたちの心を大切にしたい

白石 議員

防災計画改訂の課題、国・都から通達された災害時要支援者対策として、民生・児童委員への協力要請は、副市長 今後、市の将来計画について、今後のスケジュールは、関係保護者の意見を聞いていくか、示す部長 早期に作成したい。

子どもたちの心を大切にしたい

子どもたちの心を大切にしたい

子ども家庭支援センターは要保護児童対策調整や他機関との連携もあり、委託はできないのでは、子ども家庭部長、委託の可否について、副市長、本年2月に他の要請個所も田無警察署に要請している。現地を地域政策課長。医療情報、周知の徹底を細谷 議員。地域内の中核病院の医療体制を、市は市と市民に分かりやすく周知すべきと考えるが、健康福祉部長 1次医療

子どもたちの心を大切にしたい

子どもたちの心を大切にしたい

子ども家庭支援センターは要保護児童対策調整や他機関との連携もあり、委託はできないのでは、子ども家庭部長、委託の可否について、副市長、本年2月に他の要請個所も田無警察署に要請している。現地を地域政策課長。医療情報、周知の徹底を細谷 議員。地域内の中核病院の医療体制を、市は市と市民に分かりやすく周知すべきと考えるが、健康福祉部長 1次医療

子どもたちの心を大切にしたい

子どもたちの心を大切にしたい

子ども家庭支援センターは要保護児童対策調整や他機関との連携もあり、委託はできないのでは、子ども家庭部長、委託の可否について、副市長、本年2月に他の要請個所も田無警察署に要請している。現地を地域政策課長。医療情報、周知の徹底を細谷 議員。地域内の中核病院の医療体制を、市は市と市民に分かりやすく周知すべきと考えるが、健康福祉部長 1次医療